

高密植栽培×園地継承型トレーニングファームで、次代のりんご経営を繋ぐタッチポイント創出

- 卸売市場のグループ会社が、農地の出し手である農事組合法人と連携し、研修で育てた果樹付園地をそのまま継承する**園地継承型トレーニングファーム「りんご高密植栽培経営モデル園」**を開設。
- 研修生を広く全国から募集し、2年の実践研修や地域交流を通じて、**新規就農を目指す経営人材と地域の園地を結ぶ**。また、**短期研修や体験、視察受入によりキャリア模索層にもアプローチ**。
- JGAP園地として、有望作物ハウス栽培、スマート農業、6次化加工原料などの試験研究も実施。

【位置図】



取組前

- 本県のりんご栽培は、生産効率の高い**高密植栽培の普及が63ha（R6）とあまり進んでいない**。
- 地域の農業は、りんごと水稲が中心であるが、農業従事者の減少や高齢化が進み、地域計画による農用地の**集積率は65%に留まっている**。
- 地元農事組合法人所有の大豆畑**5haを高密植栽培研修農場**にすることで合意。



果樹定植前の大豆畑

取組内容

- 園地を研修用園地と研修生独立用園地に区分し、**年次計画で高密植果樹を定植**。
- 全国から新規就農を目指す人材を募り、研修生として雇用。（雇用就農資金活用）
- 誘致の実践事業では、新規就農PR動画制作、首都圏就農イベント初出展。

研修生出演の動画撮影風景



農林水産FEST就農相談

- 研修農場の整備事業では、農業機械を導入。

取組後(成果)

- 研修生の状況
1期生:5名応募⇒2名採用
2期生:2名応募⇒2名採用
3期生:5名応募⇒3名決定
※上記**7名のうち県外2名**
- R8年4月に、**1期生2名が認定新規就農者**として園地（50a/人）を継承。



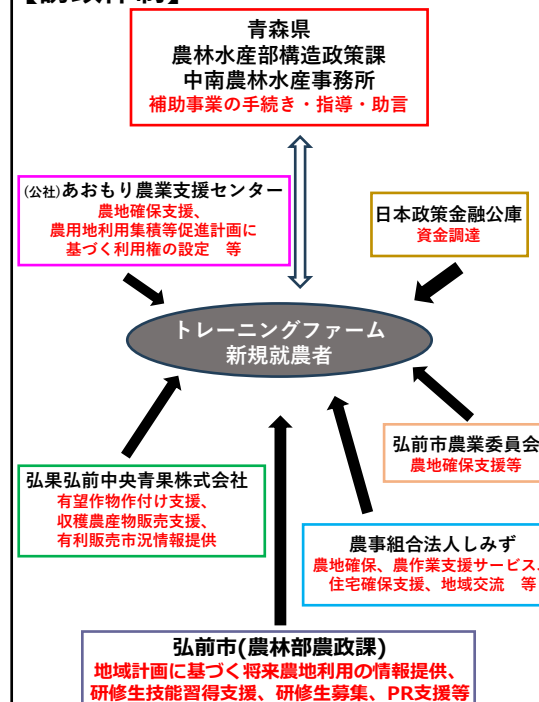
順調に生長している果樹の前で研修生も大きく成長
今後園地も拡大予定

- 地域活動では、研修生や社員が地元の祭りや行事に参加、**農村の活性化に一役**。



地元「小沢ねぶた」運行参加

【誘致体制】



新規就農者や研修生の声

- 独立用園地が目の前にあり、研修雇用で学べる仕組みが、将来設計を描きやすい。
- ドラマ風のPR動画の撮影は、初経験で新鮮、顔の見える生産者の第一歩に。
- 就農イベントに出展して就農相談のサポートでは、自分たちが研修してきたことをリアルに伝えることができた。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】弘果総合研究開発株式会社 業務部業務課

TEL：0172-29-4184

E-mail：https://hirokasoken.com/info/

HP：https://hirokasoken.com/

